



株式会社島津製作所(東証プライム市場：証券コード7701)

2022年3月期 通期決算説明会

代表取締役社長 山本靖則 | 2022年5月11日

01 決算概要

業績サマリー

売上高・営業利益・経常利益・純利益
営業利益率が過去最高を更新

- ・新型コロナウイルス感染拡大や半導体不足等の影響の中、計測と産業が業績を牽引
- ・売上高は前期比+9%、営業利益+28%、経常利益+36%、純利益+31%で過去最高
- ・営業利益率は前期比+2.3ptと大きく向上し14.9%

計測・産業は増収増益
医用は微減収ながら増益
航空は黒字確保

- ・計測：国内・海外ともに成長し、売上高・営業利益とも過去最高
医薬・受託分析等でLC、MSが伸長し、重点機種(LC、MS、GC)は前期比+11%
- ・産業：売上高・営業利益とも大幅増で過去最高、半導体製造装置向けにTMPが好調
- ・医用：海外で減収ながら、アフターマーケットの増加等で営業利益率9.1%を達成

北米・欧州・中国・その他のアジアの
海外全地域で売上高増加

- ・海外売上高は14%増、海外売上高比率は前期比+2.2ptの53.0%
- ・北米・欧州：医薬・臨床向けにLCやMSが増加し、半導体製造装置向けにTMPが伸長
- ・中国：医薬・受託分析向けにLCが好調、TMP・ガラスワインダーが増加
- ・その他のアジア：ジェネリック医薬を中心にLC・MSが増加、TMP・ガラスワインダーが増加

感染症対策プロジェクト Phase II を推進

- ・新型コロナウイルス検出試薬キット・全自動PCR検査装置が、前期比倍増
- ・(株)AdvanSentinelを塩野義製薬(株)と共同で設立し、下水疫学調査など感染症対策の仕組み作りを推進

注：LC：液体クロマトグラフ、MS：質量分析システム、GC：ガスクロマトグラフ、TMP：ターボ分子ポンプ

損益計算書

売上高・営業利益・経常利益・純利益・営業利益率の全てで、過去最高を更新

売上高
 前期比：+347億円/ +9%
4,282億円

営業利益
 前期比：+141億円/ +28%
638億円

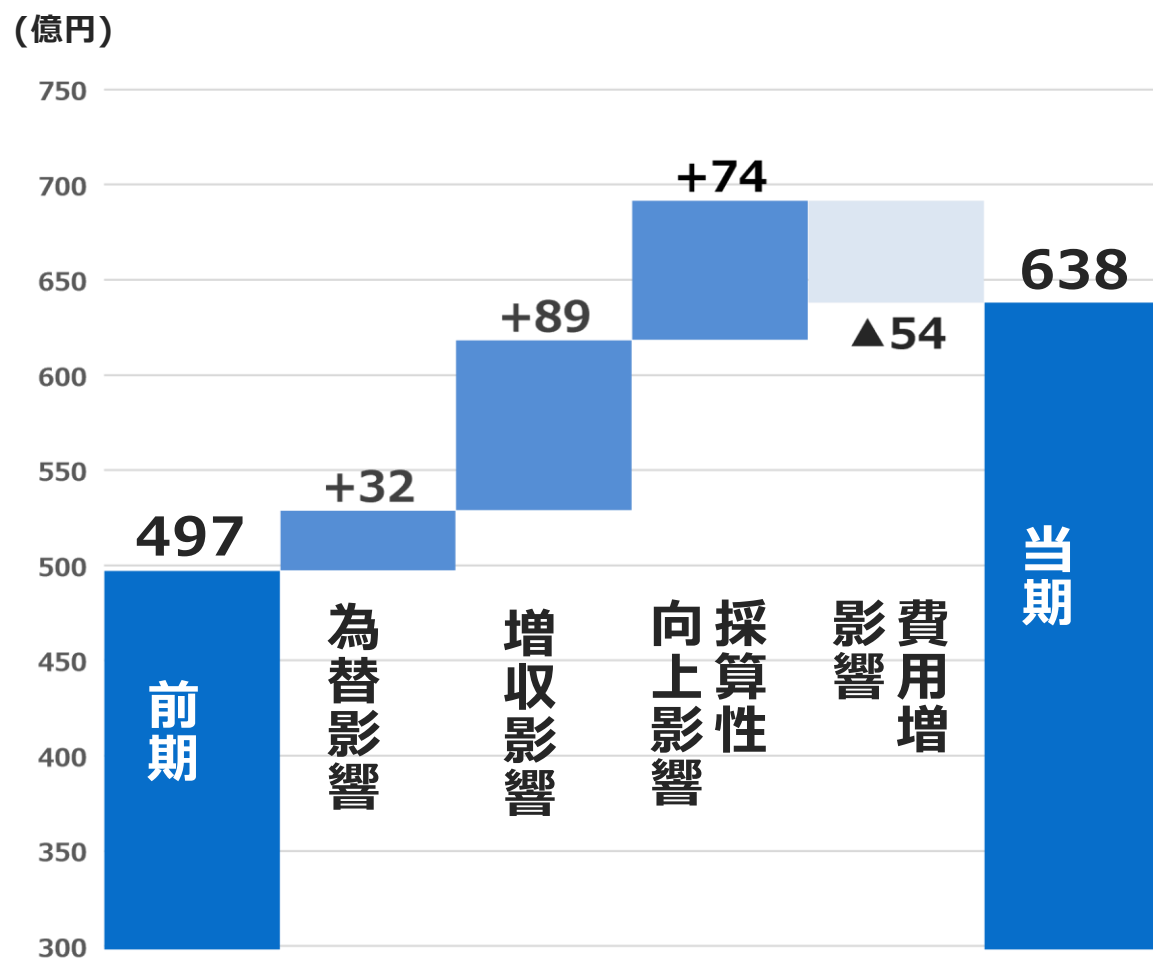
営業利益率
 前期比：+2.3pt
14.9%

	単位：億円	通期		前期比	
		FY2021	FY2020	増減額	増減率
業績	売上高	4,282	3,935	+347	+9%
	営業利益	638	497	+141	+28%
	営業利益率	14.9%	12.6%	+2.3pt	
	経常利益	656	484	+172	+36%
	親会社株主に帰属する当期純利益	473	361	+112	+31%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	112.43	106.11	+6.32	+6%
	ユーロ(円)	130.60	123.75	+6.85	+6%
	研究開発費	163	157	+6	
	設備投資額	164	145	+19	

減価償却費
162億円

為替影響額
 売上高：128億円
 営業利益：32億円

営業利益増減要因



為替
+32億円

- 米ドル・ユーロがともに円安

増収
+89億円

- 【計測】重点機種・新型コロナウイルス関連製品が増加
- 【産機】TMPの売上が増加

採算性向上
+74億円

- 【計測】
 - 生産性向上
 - プロダクトミックスの改善 (LC・試薬キットの増加)
- 【医用】
 - アフターマーケット売上高増加
 - X線TVの採算性改善

費用増
▲54億円

- 人件費・売上関係費・旅費交通費が増加
- ※販売管理費比率は前期比0.3pt改善

セグメント別損益

計測機器：増収増益

営業利益：+111億円/ +27%
営業利益率：19.1%

- ・営業利益が500億円を突破
- ・営業利益率は19%を超えた

医用機器：微減収増益

営業利益：+11億円/ +22%
営業利益率：9.1%

- ・アフターマーケット拡大等で営業利益率は9%を超えた

産業機器：増収増益

営業利益：+26億円/ +78%
営業利益率：10.5%

- ・TMPの採算性改善が牽引し、営業利益率が10%を超えた

航空機器：黒字確保

営業利益：▲8億円/ ▲87%
営業利益率：0.5%

- ・売上は減少したものの、採算性改善により黒字を確保

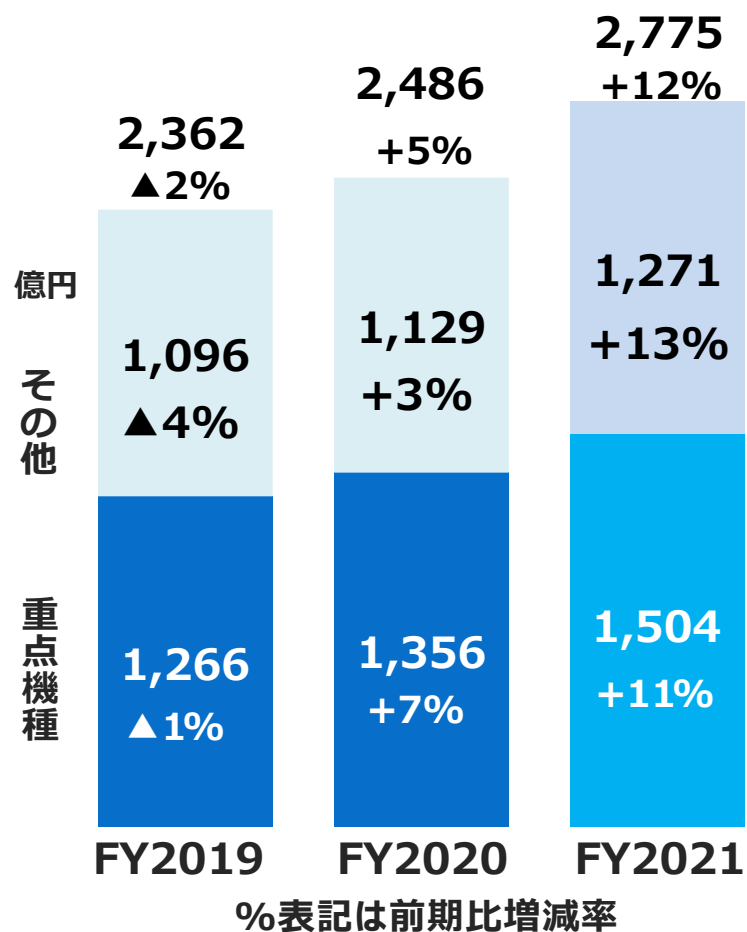
単位: 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2021	FY2020	前期比		FY2021	FY2020	前期比		FY2021	FY2020	前期比
			増減額	増減率			増減額	増減率			増減
計測機器	2,775	2,486	+290	+12%	530	418	+111	+27%	19.1%	16.8%	+2.3pt
医用機器	669	669	▲0	▲0%	61	50	+11	+22%	9.1%	7.5%	+1.6pt
産業機器	567	451	+117	+26%	60	34	+26	+78%	10.5%	7.4%	+3.1pt
航空機器	223	286	▲63	▲22%	1	9	▲8	▲87%	0.5%	3.1%	▲2.6pt
その他	47	44	+3	+7%	13	10	+3	+27%	18.1%	16.2%	+1.9pt
調整額	-	-	-	-	▲26	▲23	▲3	-	-	-	-
合計	4,282	3,935	+347	+9%	638	497	+141	+28%	14.9%	12.6%	+2.3pt

セグメント毎の業績をより適切に管理するため、当第1四半期から管理部門費をより合理的な配賦方法に変更している。前期比較については前期の数値を新配賦方法に基づき組み替えている。

02 通期決算セグメント別業績

計測機器/機種別売上高・アフターマーケット比率

計測機器 通期売上高



重点機種



その他



重点機種売上高
前期比 +148億円/ +11%

1,504億円

- LC : 活発な新薬開発や医薬品自国生産拡大などによりグローバルに増加
- MS : 医薬・臨床・受託分析を中心に増加

その他売上高
前期比 +142億円/ +13%

1,271億円

- PCR関連 : 新型コロナウイルス感染拡大で増加
- 試験機 : 国内の輸送機や教育機関向けに増加

アフターマーケット比率
前期比 +147億円/ +2pt

36%

- PCR試薬等の消耗品、またサービスが各々増加

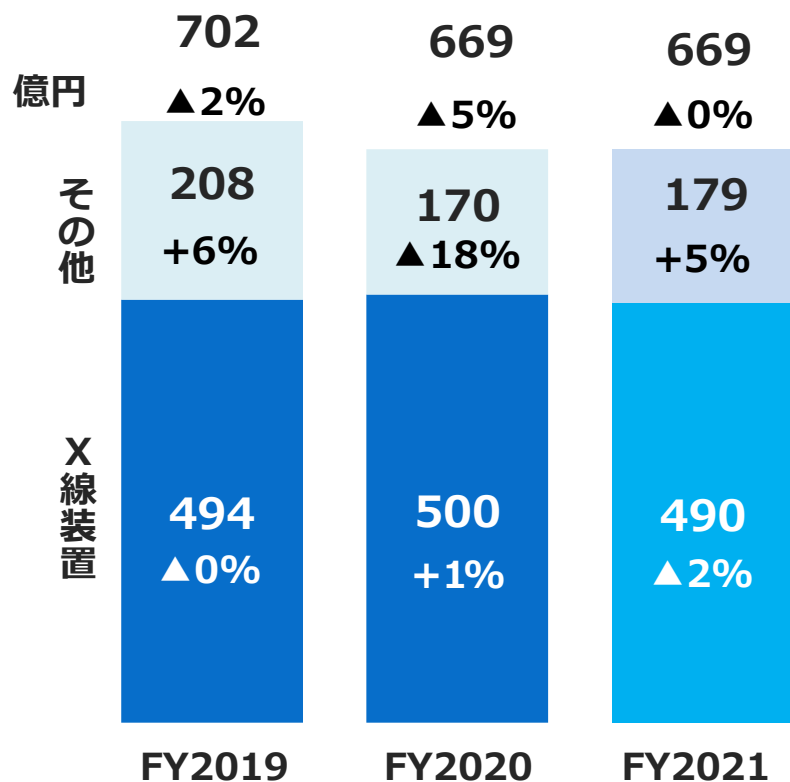
計測機器/地域別売上高

- ・国内では、LCが医薬向けに、試験機が輸送機や教育機関で増加。新型コロナウイルス関連製品も増加
- ・海外では、LCが医薬向けに好調、主要地域で二桁%増。海外売上高比率は1.0pt向上し、59.1%

単位：億円	FY2022	FY2021	前年同期比			概況
			増減額	増減率	増減率 (為替影響除く)	
日本	209	216	▲6	▲3%	▲3%	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染者数の減少に伴い、コロナ関連製品が減少 ・ヘルスケア分野向けにLC・MSや、化学向けにGCが増加 ・輸送機や教育機関向けに試験機が増加
北米	71	73	▲2	▲2%	▲16%	<ul style="list-style-type: none"> ・重点機種の手顧客向け売上が減少 ・新型コロナウイルス検出試薬キットや臨床向けMSが減少 ・医薬市場向け受注高は前年同期比+10%台真ん中(為替影響除く)
欧州	71	63	+8	+13%	+8%	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床向けに、LCやMSが増加し、ロシア・ウクライナ情勢による減少を補った
中国	145	169	▲24	▲14%	▲28%	<ul style="list-style-type: none"> ・ロックダウンを除けば、売上高は10%台前半増
その他のアジア	89	65	+24	+37%	+20%	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬向けの需要が拡大したことや、前年のロックダウンの反動により、LCやMSが好調に推移

医用機器/機種別売上高・アフターマーケット比率

医用機器 通期売上高



%表記は前期比増減率

X線装置



その他



X線装置売上高
前期比 ▲10億円/ ▲2%
490億円

- コロナ特需の反動で回診用X線撮影装置が減少
- X線TVは日本・北米を中心に増加
- 半導体等の部材不足が売上に影響

その他売上高
前期比 +9億円/ +5%
179億円

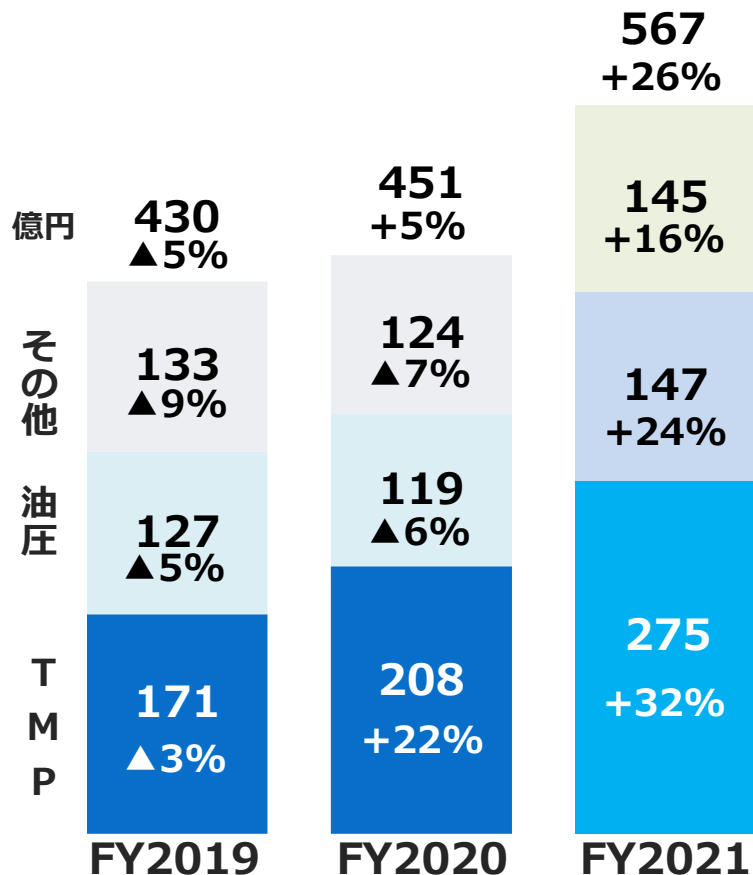
- 部品売上が増加
- 放射線治療用動体追跡システムが増加

アフターマーケット比率
前期比+20億円/ +3pt
36%

- サービス及び部品の売上が増加

産業機器/機種別売上高・TMPアフターマーケット比率

産業機器 通期売上高



%表記は前期比増減率

ターボ分子ポンプ (TMP)

電源一体型 電源別置型

油圧機器

ギヤポンプ コントロールバルブ

その他

工業炉 ガラスワインダー バランサー

TMP売上高
前期比 +67億円/+32%

275億円

TMP
アフターマーケット比率
前期比+6億円/▲2pt

16%

- 半導体製造装置向けが好調を維持
- 建材ガラス・薄膜太陽電池製造装置向けも拡大
- アフターマーケット売上は増加したが、比率は減少

油圧機器売上高
前期比 +28億円/ +24%

147億円

- フォークリフト、小型建機、農機等向けに増加

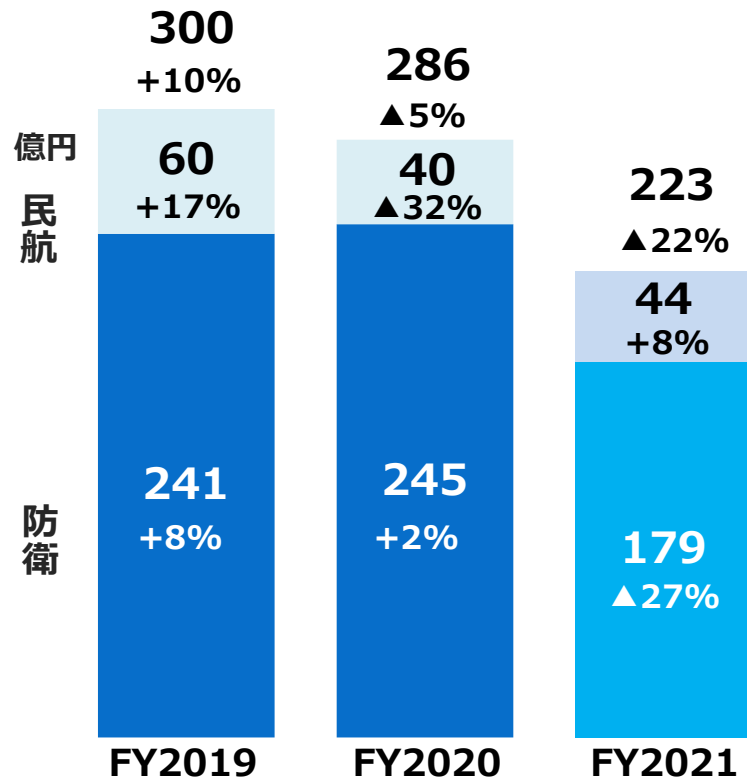
その他売上高
前期比 +21億円/ +17%

145億円

- 中国・台湾・韓国でプリント基板増産によりガラスワインダーが増加

航空機器/分野別売上高

航空機器 通期売上高



%表記は前期比増減率

防衛



エアマネジメントシステム

コックピットディスプレイシステム

民間航空機



防衛分野売上高
前期比 ▲66億円/ ▲27%
179億円

- 前期の防衛大口案件の反動で減少
- 製品の選択と集中を推進

民間航空機分野売上高
前期比 +3億円/ +8%
44億円

- 民間航空機需要に底打ちの兆し

03 2022年度通期業績予想

通期業績予想

売上高
前期比：+268億円/ +6%
4,550億円

営業利益
前期比：+42億円/ +7%
680億円

営業利益率
前期比：+0.0pt
14.9%

	単位：億円	通期		前期比	
		FY2022 予想	FY2021	増減額	増減率
業績	売上高	4,550	4,282	+268	+6%
	営業利益	680	638	+42	+7%
	営業利益率	14.9%	14.9%	+0.0pt	
	経常利益	680	656	+24	+4%
	親会社株主に帰属する当期純利	490	473	+17	+4%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	115.00	112.43	+2.57	+2%
	ユーロ(円)	130.00	130.60	▲0.60	▲0%
	研究開発費	190	163	+27	
	設備投資額	240	164	+76	

- 売上高・営業利益ともに3期連続で過去最高の更新を目指す
- 研究開発は、将来の成長を見据え先端分野の研究開発を加速し、技術開発・競争力強化
- 設備投資は販売拠点やイノベーションセンターの強化など、海外を中心に事業基盤を拡充。また、DX投資も推進

減価償却費
170億円

為替感応度
米ドル
売上高： 12億円
営業利益： 4億円
ユーロ
売上高： 2億円
営業利益： 0.7億円

通期セグメント別業績予想

計測機器：増収増益

売上高 : +5%
 営業利益 : +7%
 営業利益率 : +0.3pt

医用機器：増収減益

売上高 : +9%
 営業利益 : ▲6%
 営業利益率 : ▲1.3pt

産業機器：増収増益

売上高 : +11%
 営業利益 : +20%
 営業利益率 : +0.9pt

航空機器：増収微増益

売上高 : +1%
 営業利益 : +2%
 営業利益率 : 横ばい

- 北米の医薬市場、欧州の臨床市場への取り組みを強化
- 新製品のLC(Nexera,i-Series,イナートLC)、小型MSを拡販
- カーボンニュートラルへの取り組み強化

- 画像処理やAI技術などソフトウェアのサブスクリプション事業を展開
- アフタマーケット事業強化
- 新製品投入と市場開拓を強化

- TMPのシェア拡大を推進
- サービス拠点の拡充により、TMPアフタマーケット事業強化
- TMP、油圧装置の生産能力向上

- 選択と集中を推進
- 黒字を確保

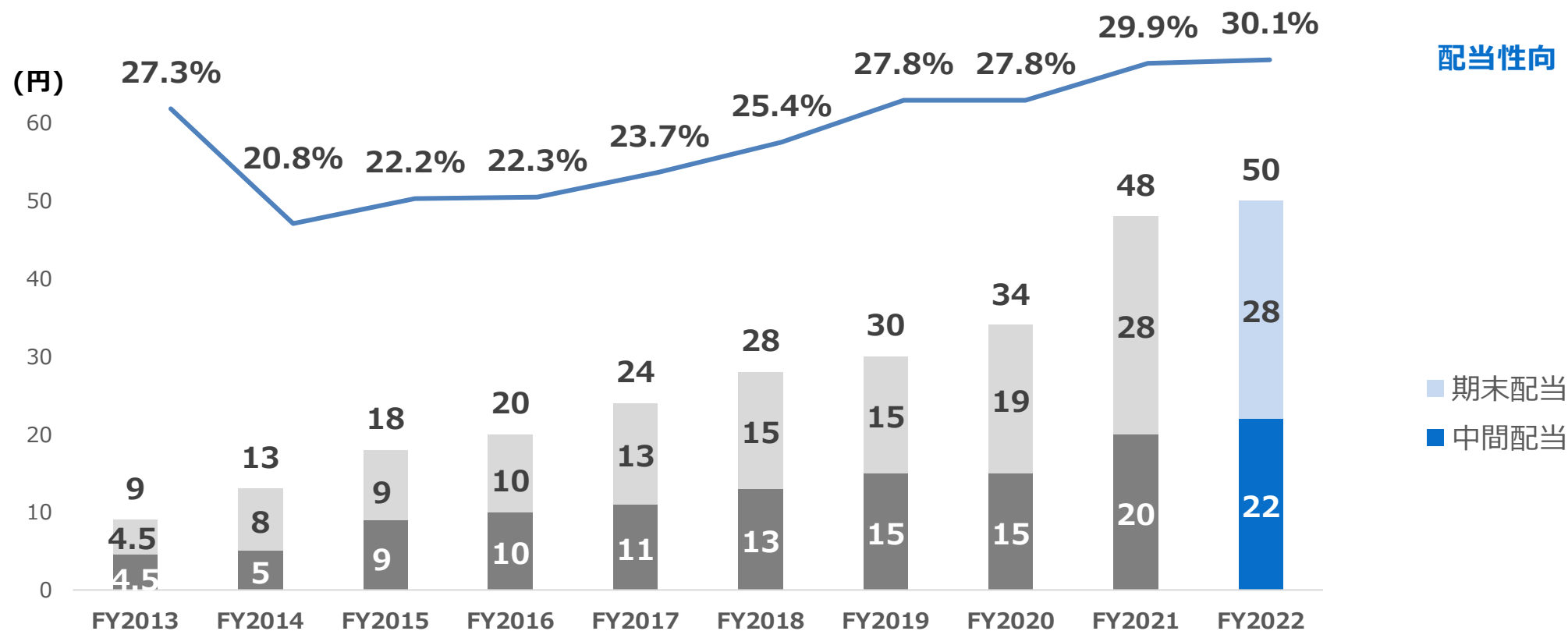
単位: 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2022	FY2021	前期比		FY2022	FY2021	前期比		FY2022	FY2021	前期比増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	2,920	2,775	+145	+5%	565	530	+35	+7%	19.3%	19.1%	+0.3pt
医用機器	730	669	+61	+9%	57	61	▲4	▲6%	7.8%	9.1%	▲1.3pt
産業機器	630	567	+63	+11%	72	60	+12	+20%	11.4%	10.5%	+0.9pt
航空機器	225	223	+2	+1%	1	1	+0	+2%	0.5%	0.5%	+0.0pt
その他	45	47	▲2	▲5%	14	13	+1	+11%	21.2%	18.1%	+3.0pt
調整額	-	-	-	-	▲29	▲26	▲3	-	-	-	-
合計	4,550	4,282	+268	+6%	680	638	+42	+7%	14.9%	14.9%	+0.0pt

株主還元

株主への還元は、総還元性向30%を目安とし、安定した配当を継続

2021年度配当金：予想より7円増配の48円

2022年度配当金：9期連続増配、一株当り前期比2円増配の50円を予定（配当性向30.1%）



● FY2021は定時株主総会決議で確定。FY2022は予定



SHIMADZU

Excellence in Science



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673 E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

損益計算書(1-3月)

	単位：億円	第4四半期(1月-3月)		前年同期比	
		FY2021	FY2020	増減額	増減率
業績	売上高	1,223	1,174	+49	+4%
	営業利益	183	170	+13	+8%
	営業利益率	15.0%	14.5%	+0.5pt	-
	経常利益	189	159	+31	+19%
	親会社株主に帰属する当期純利益	134	125	+9	+7%
為替	平均為替レート：米ドル（円）	116.27	105.93	+10.34	+10%
	ユーロ（円）	130.43	127.77	+2.66	+2%
	研究開発費	47	49	▲ 2	
	設備投資額	63	39	+23	

減価償却費

41億円

為替影響額

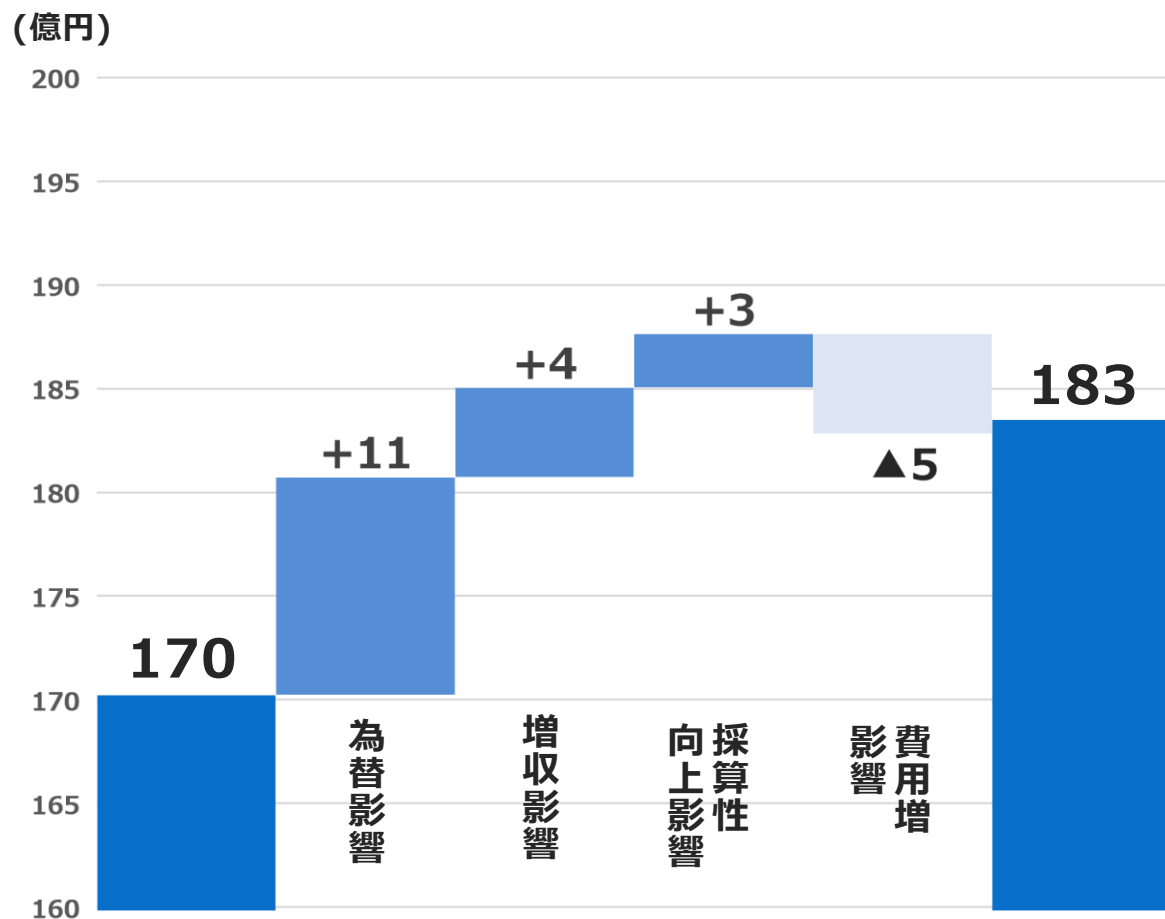
売上高41億円
営業利益11億円

セグメント別損益(1-3月)

単位: 億円	売上				営業利益				営業利益率		
	FY2021	FY2020	前年同期比		FY2021	FY2020	前年同期比		FY2021	FY2020	前年同期比 増減
			差額	増減率			差額	増減率			
計測機器	786	760	+27	+4%	151	139	+12	+9%	19.2%	18.3%	+1.0pt
医用機器	200	205	▲5	▲3%	20	26	▲6	▲24%	9.8%	12.5%	▲2.8pt
産業機器	153	128	+25	+19%	15	10	+5	+50%	10.0%	7.9%	+2.1pt
航空機器	72	66	+6	+10%	2	▲1	+3	▲319%	2.6%	-1.3%	+3.9pt
その他	11	15	▲4	▲25%	5	4	+1	+13%	43.4%	28.8%	+14.6pt
調整額					▲9	▲8	▲1	-			
合計	1,223	1,174	+49	+4%	183	170	+13	+8%	15.0%	14.5%	+0.5pt

セグメント毎の業績をより適切に管理するため、当第1四半期から管理部門費をより合理的な配賦方法に変更している。前期比較については前期の数値を新配賦方法に基づき組み替えている。

営業利益増減要因(1-3月)



為替
+11億円

- 米ドル・ユーロがともに円安

増収
+4億円

- 【計測】LCや、新型コロナウイルス感染拡大に伴い検出試薬キットが増加
- 【産業】TMPが増加

採算性向上
+3億円

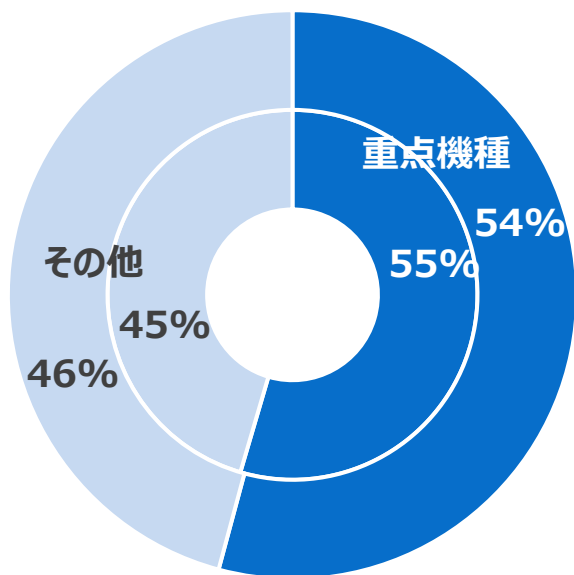
- 【計測】新型コロナウイルス検出試薬キットの増加によるプロダクトミックスの改善

費用増
▲5億円

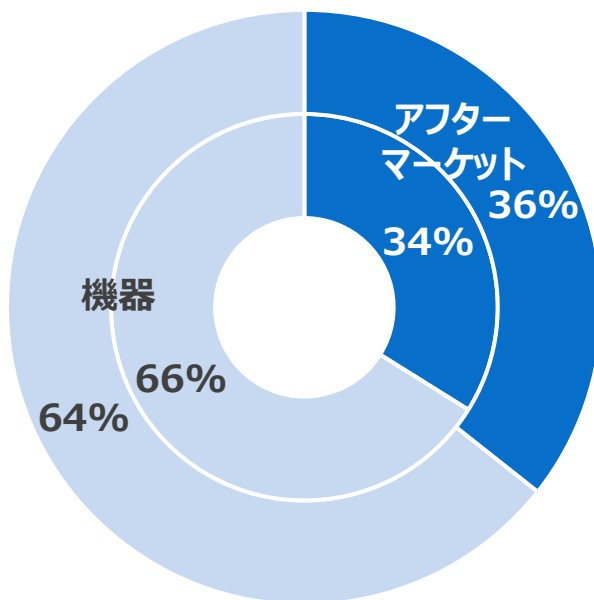
- 物流費の増加

計測機器/各種売上高構成比率

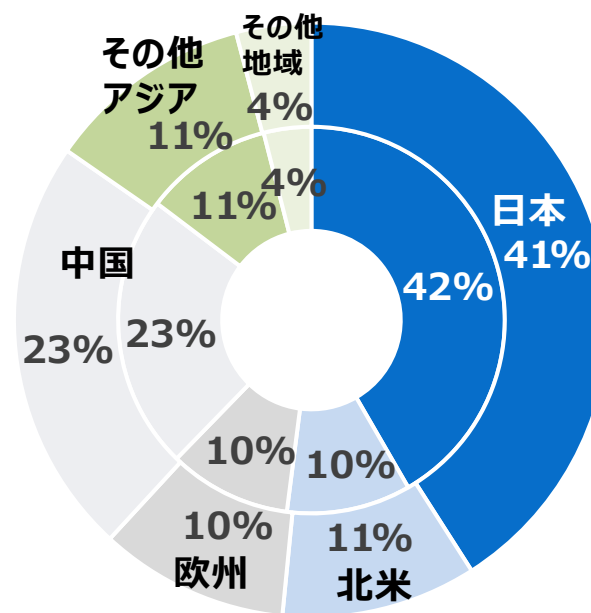
機種別



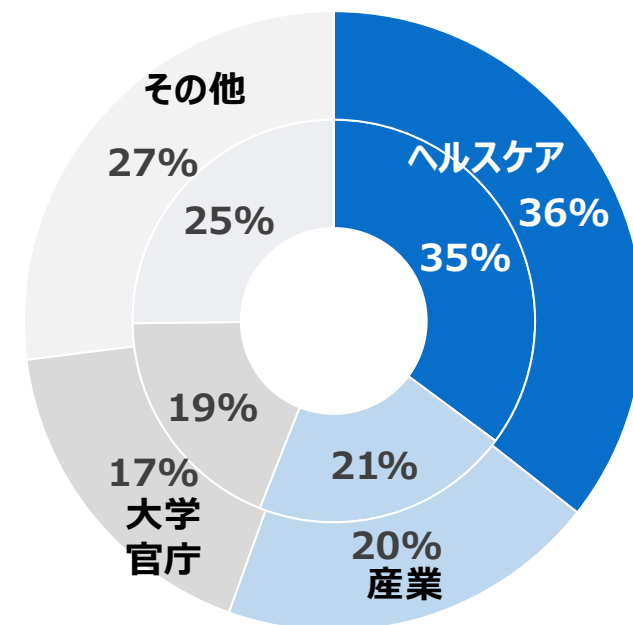
機器/アフターマーケット



地域別



市場別



※円グラフ外側はFY2021実績、内側はFY2020実績を示す

計測機器/重点機種前同比

	FY2019					FY2020					FY2021				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
重点機種	+5%	+7%	+5%	▲10%	▲1%	▲5%	+2%	+11%	+22%	+8%	+20%	+7%	+4%	▲3%	+6%
全体	▲4%	+10%	+4%	▲11%	+1%	▲7%	▲4%	+10%	+19%	+5%	+25%	+9%	+4%	▲0%	+8%

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

※FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

計測機器/地域別売上前同比

国	FY2019					FY2020					FY2021				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
日本	▲12%	+21%	+0%	▲5%	+1%	▲11%	▲15%	+15%	+11%	+1%	+26%	+12%	+4%	+3%	+9%
北米	+4%	▲5%	+16%	+4%	+5%	▲4%	+13%	▲8%	+5%	+1%	+31%	+7%	▲7%	+0%	+7%
欧州	+1%	+19%	+2%	▲2%	+5%	▲5%	▲5%	+5%	+11%	+2%	+15%	+11%	+4%	▲4%	+5%
中国	▲8%	▲4%	+4%	▲40%	▲12%	+12%	+14%	+18%	+74%	+25%	+22%	+5%	▲0%	▲12%	+4%
その他アジア	+19%	+11%	+8%	▲10%	+6%	▲25%	▲9%	+5%	+25%	▲2%	+22%	+6%	+10%	+6%	+10%
インド	+11%	▲3%	+27%	▲5%	+7%	▲35%	▲4%	+4%	+22%	▲3%	+2%	▲0%	▲3%	+3%	+0%

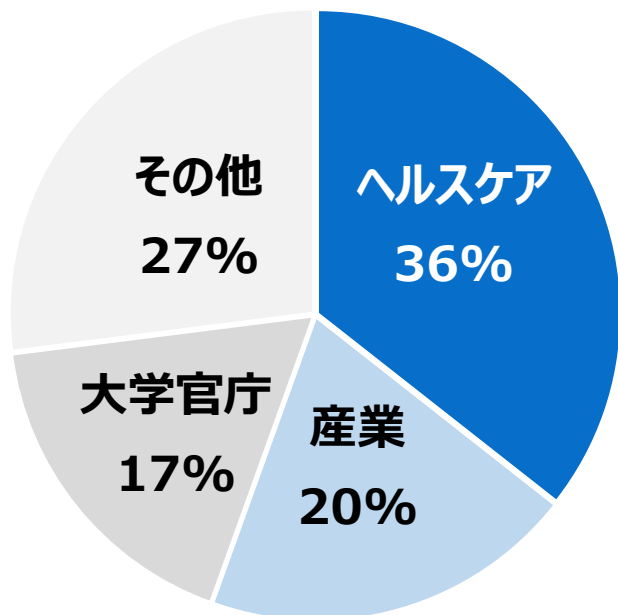
・FY2021 4Qにおいて、欧州はロシアのウクライナ侵攻による影響、中国はゼロコロナ政策による都市封鎖の影響により減少

※インドはその他アジアの内数

※FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

計測機器/市場別売上高比率 (通期)

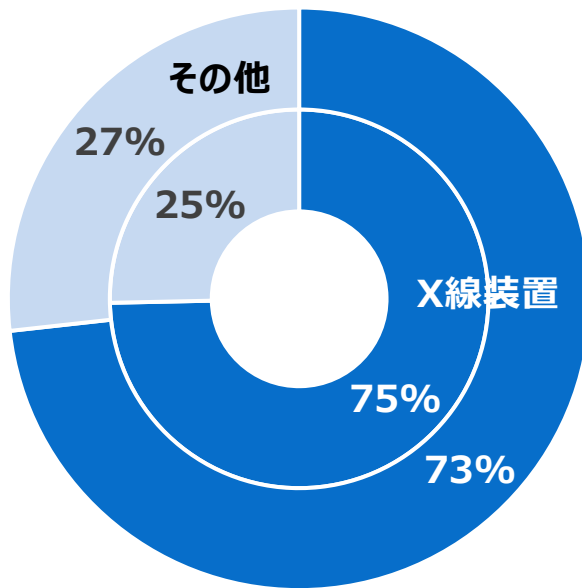
市場別売上構成比



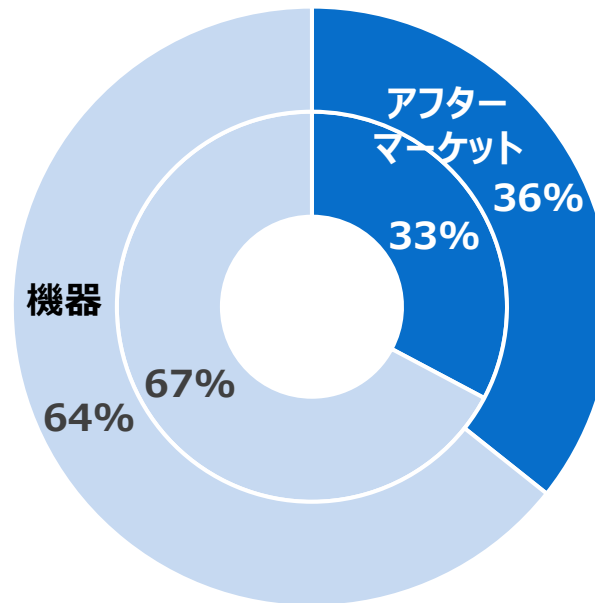
市場と主な業界	構成比		売上高 前期比	概況
	FY2021	FY2020		
ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業	36%	35%	+15%	・医薬、医療機関、受託分析向けにLCやMSが増加 ・新型コロナウイルス感染拡大にともない、新型コロナウイルス検出試薬キットや全自動PCR検査装置が増加
産業関連 ●化学・素材 ●電機 ●自動車	20%	21%	+9%	・グローバルで回復傾向 ・輸送機向けに試験機が増加
大学・官公庁	17%	19%	+6%	・大学は中国で免税リスト公布遅延により減少したものの、欧米では回復。 ・官公庁は、各国政府の予算執行が進み、グローバルで増加

医用機器/各種売上高構成比率

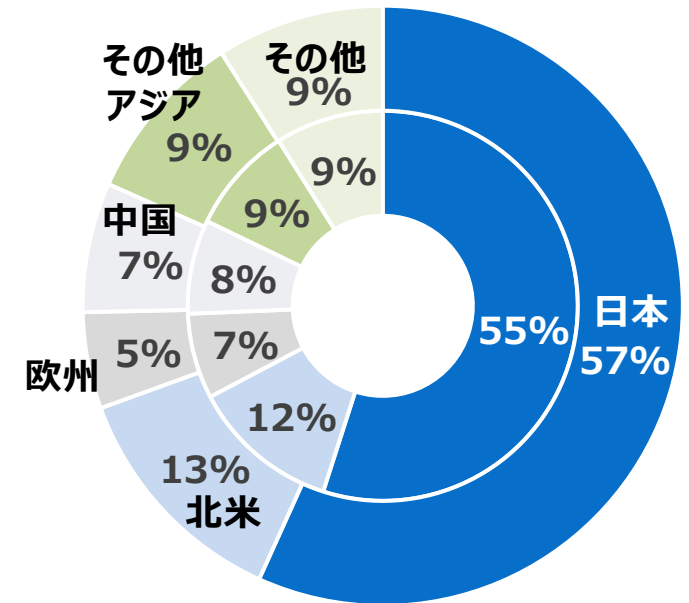
機種別



機器/アフターマーケット



地域別



※円グラフ外側はFY2021実績、内側はFY2020実績を示す

医用機器/地域別売上高（通期）

単位：億円	FY2021	FY2020	増減額	増減率	概況
日本	380	369	+10	+3%	<ul style="list-style-type: none"> ・補正予算による市況の回復によりX線TVシステムが増加 ・アフターマーケットの売上増加
海外	289	300	▲10	▲3%	<ul style="list-style-type: none"> ・前年コロナ禍で増加した回診用X線撮影装置の反動
北米	85	83	+2	+2%	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の設備投資が回復基調にあり、X線TVシステムや一般撮影システムが増加
欧州	35	48	▲13	▲27%	<ul style="list-style-type: none"> ・回診用X線撮影装置の需要が大幅に減少
中国	47	52	▲6	▲11%	<ul style="list-style-type: none"> ・中国国産品との競争激化に加え、入札が遅延する等設備投資が停滞
その他 アジア	62	60	+2	+4%	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアで新型コロナウイルスの感染拡大により回診用X線撮影装置が増加

医用機器/地域別売上高前同比

国	FY2019					FY2020					FY2021				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
日本	+6%	+30%	▲2%	▲5%	+7%	▲15%	▲33%	▲1%	+7%	▲12%	+24%	+8%	▲10%	▲3%	+3%
北米	▲24%	▲17%	+5%	+7%	▲9%	+14%	+29%	+26%	+1%	+16%	+2%	▲19%	+2%	+5%	▲3%
欧州	▲26%	▲6%	+2%	▲8%	▲9%	+19%	+30%	+51%	▲3%	+27%	▲21%	▲42%	▲36%	▲14%	▲31%
中国	▲33%	+5%	▲26%	+13%	▲8%	+34%	▲33%	+29%	▲25%	▲7%	▲27%	▲1%	▲18%	▲18%	▲16%
その他アジア	▲8%	+3%	▲16%	+34%	▲0%	▲9%	+17%	▲4%	+20%	+6%	+15%	+5%	+18%	▲28%	▲0%

※FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

産業機器/機種別売上高前同比

	FY2019					FY2020					FY2021				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
TMP	▲25%	▲26%	+10%	+48%	▲1%	+46%	+36%	+7%	+9%	+21%	+13%	+35%	+44%	+22%	+28%
油圧	+2%	+1%	▲12%	▲5%	▲4%	▲19%	▲17%	+7%	+6%	▲6%	+34%	+34%	+18%	+3%	+21%
その他	▲37%	+19%	▲11%	▲1%	▲8%	▲7%	▲20%	+14%	▲16%	▲8%	+32%	+30%	▲6%	+14%	+15%

※FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

アフターマーケット（AM）比率

計測	FY2019					FY2020					FY2021				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
AM売上前同比	+3%	+6%	+10%	▲2%	+4%	+1%	+4%	+12%	+22%	+10%	+33%	+16%	+4%	+6%	+13%
AM比率	34%	30%	33%	32%	32%	37%	33%	35%	33%	34%	38%	35%	35%	35%	36%
医用															
計測	FY2019					FY2020					FY2021				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
AM売上前同比	+5%	+13%	▲3%	+2%	+4%	+1%	▲8%	+14%	+5%	+3%	+14%	+9%	+2%	+1%	+6%
AM比率	35%	28%	31%	30%	30%	37%	32%	32%	31%	33%	38%	35%	39%	32%	36%
TMP															
計測	FY2019					FY2020					FY2021				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
AM売上前同比	+13%	+9%	▲1%	+12%	+8%	+12%	+3%	+11%	+6%	+8%	+18%	+11%	+15%	+5%	+12%
AM比率	22%	27%	18%	18%	21%	17%	21%	19%	18%	19%	17%	17%	15%	15%	16%

※FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外